

# 新入住宅

NEKO MOOK 3163

スタイルブック **26**

岡山・旧松本邸

もに美しくなる洋館

Greece & Istanbul

街を散歩

Life & Western  
Architecture

西洋建築を楽しむ



の住宅様式

# WORLD DESIGN HOUSE



# TSURUOKA KOUJIMUTEN

# 2

World Design House

## French Casual Style

センスを信じて作りあげた  
マイ・フレンチスタイル

千葉県 Y邸

Photo\_Kazunari-HIROI 広井一成  
Text\_Hisao\_ONOZUKA 小野塚久男



### Facade

バリの郊外に建つ家をモチーフに、外観は塗り壁の白、アイアンの黒でモノトーンに、「スタイリッシュにまとめたかった」とYさん。アイアンはオリジナルデザインだが、家族4人のインシャルが、わかる人にはわかるようにデザインされているという。

### Facade

外壁は、凹凸のある質感にこだわったため、塗り壁にするに決めた。コーナーを部分的に石張りすることで、抑揚をきかせた仕上がりとなっている。

### Owner's Voice

ずっとインテリア関係の仕事をしてきたこともあって、建てたい家のイメージははっきり固まっていました。自分でスケッチ、間取り図まで描いたほど。そこまで固まっていると、施工会社とのやりとりが難しくなる部分もありますが、つるおか工務店は輸入住宅づくりのプロとして対応してくれました。職人さんたちの仕事に、改めて敬意を表したいですね。

### モノトーンで単調になりがちな空間に 色使いと家族の思いでオリジナルティを強調した

インテリア関係の仕事をしなが、将来建てたい家の構想を少しずつ固めていったというYさん。白と黒が基調のフレンチスタイルをベースに、「外観はスタイリッシュ、室内はカジュアルダウン」が基本コンセプトだ。

仕事柄、センスの良さが随所に感じられるY邸だが、特にタイルの使い方、配色の balan

スで抑揚を持たせるところは、さすがだ。リビングの一角に、小さなタイルを張ったニッチスペースを設けるなど、かなり思い切った空間の使い方もしている。

1階の色使いのポイントとなるのは、リビングのボルドー色のレースカーテン。「白と黒だと単調になりますが、派手な色も入

れたくない。全体のバランスを崩さず、アクセントにするには、これくらいのボルドーがちょうどいいと思いました。ここからインテリアの色合いを整えていきましたね」

また、壁やドアなど、家族が協力して自分たちで塗ったところも多い。センスと家族それぞれの思いが、Y邸の通奏低音のようだ。





**Living room**

高い吹き抜けのリビングは、奥様のこだわりを凝縮させた空間となっている。ヘリンボーンに貼り合わせたフローリング、ボルドー色のレースカーテン、濃いグレーのドア、タイルを大胆に使ったコーナーの装飾など、さまざまな要素をバランスよく組み合わせるセンスは、インテリアの仕事をしているからこそだろう。



**Hall**

2階フロアからリビングを見下ろす、階段からつながるアイアンはオリジナルのデザインだが、一部、ゆるやかにカーブしている。「加工が大変だったようですが、空間にやわらかさが出て、気に入っています」。



**Niche**

リビングのコーナー部分はカーブした壁にして、ニッチを設けた。奥様が好きなタイルをリビングに使うためのアイデアで、表情の異なる複数のタイルを組み合わせている。壁の内側はランドリーとなり、洗濯機を置くスペースを広く取るという狙いもあった。



**Hall**

階段で2階に上がると、本棚を置き、ファミリーリビングとして利用しているスペースがある。窓の下にはベンチも設えてあった。本棚はDIYで、右にあるトイレのドアも、家族で協力して塗ったそうだ。







**Kitchen Dining**

床がヘリンボーンのリビングの隣には、キッチン、ダイニングのスペースがあり、こちらは床にタイルを使っている。奥の壁の向こうは奥様のワーキングスペース。白を基調にポイント的に黒を使い、フレンチカジュアルのイメージでまとめられている。



**Kitchen**

キッチンに関しては、アイランド側面の壁にモールディング装飾を施すなど「家具っぽくしたかった」と奥様。換気扇を目立たなくするのもこだわったという。白基調だが、タイルの一部に金色がアクセントとして使われている。



**Dining room**

椅子の色はあえて揃えず、ここでもカジュアルダウンを強調。カーテンにはグレーを選んだが、普通のデザインでは少しつまらないため、スタイルカーテンを選んだ。これだけでも空間の印象は変わる。

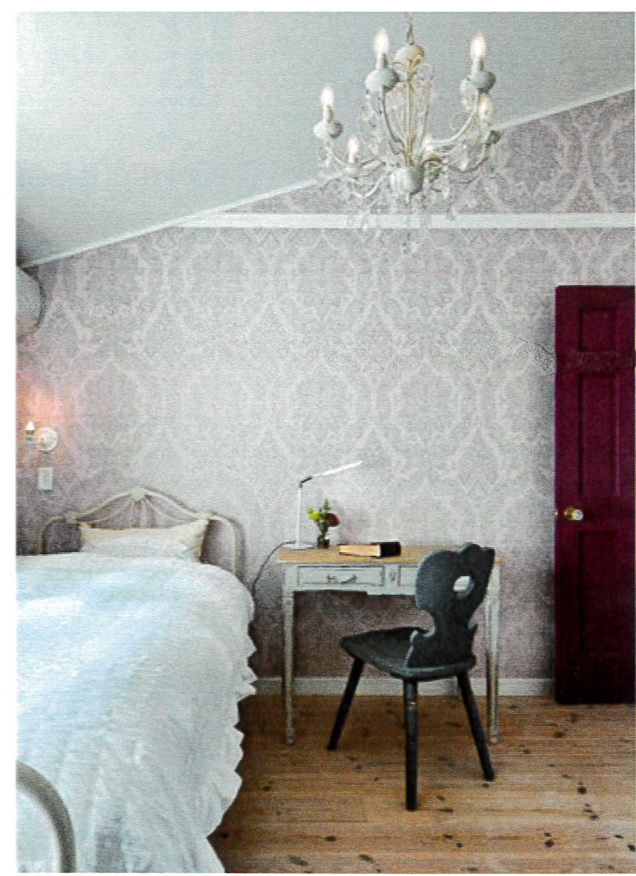


**Bed room**

**Bed room**

上のお嬢さんが使う寝室は、本人の希望でピンクをモチーフに。ただ、ピンクといっても控えめの色合いを選ぶあたりは、インテリアの仕事をしているYさんのセンスを受け継いでいるのかも。薄いピンクと椅子のグレーのバランスが絶妙。

2階にある寝室は、それぞれの部屋でイメージカラーを変えてある。主寝室はグレーを基調に、シャビーテイストのベッドサイドテーブルを置き、落ち着いた印象の空間となっていた。奥に見える各部屋のドアは、使う人が色を選び、自分たちで塗ったという。



**Japanese room**

床の間にはYさんが好きな和歌山の変根来塗りを使い、背景には色の濃い和紙を。小豆色の襦も和紙で、オーダーしてつくってもらったという。珪藻土をDIYで塗るなど、こだわりの詰まった和室だが、DIYの部分も多く「意外にリーズナブルなんです」とYさん。







*Powder room*

ダブルボウルの洗面スペースは、カジュアルダウンの意味で、形の異なるボウルを使用している。壁にはタイルを張り、カフェをイメージしたという。東向きにあるため、朝は上の窓からたっぷりの日が押し込む。



*Rest room*

1階は塗り壁が基本だが、「どこかに輸入の柄物クロスを使いたかった」。手間をかけて探し、外観に使われているアイアンの模様と似たものを選んだ。やや明るめのパープルとの組み合わせは参考にできそう。



*Entrance*

エントランスホールは白を基調にまとめた。Y邸はニッチが効果的に配置されているが、ここでもアクセントとなっている。上がり框にもさり気なく小さなタイルを使うなど、控えめながらYさんの好みも反映されている。



*Bath room*

ご主人がこだわったという浴室は、大きなバスタブに全身を伸ばして浸かれる。窓があり、その向こうに緑が配置されているが、これは露天風呂をイメージしたもの。夜はライトアップするのも可能で、「つい長風呂になってしまいます」。

千葉県 Y邸

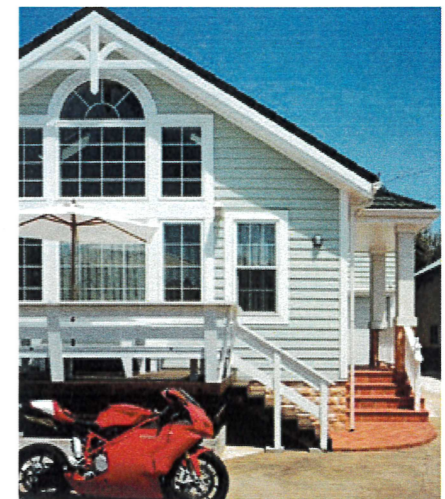
竣工/2016年  
延床面積/152.00㎡

◀ VARIATION ▶



ぬくもりあふれる南欧スタイルの家

リゾート感たっぷりの地中海沿岸の南欧建築を忠実に再現した邸宅。青空によく映える暖色系の塗り壁とオレンジ色のスペイン瓦、滑らかな曲線とデザインタイルが調和したぬくもりのある佇まいは、輸入住宅デザインに精通している「つるおか工務店」ならではの、高さのある勾配天井を生かした開放感のある室内も、施主の理想をカタチにした贅沢な空間を実現している。



雄大な自然を感じるハワイアンハウス

モスグリーンの屋根とエメラルドグリーンの壁面とのコントラストが絶妙な外観。テラスの床は茶、手すりは白と塗り分けて、ハワイ風の雰囲気を出している。ハワイ好きなオーナー夫妻の好みを反映したもので、現地の家の単純な模倣ではなく、施主の好みやライフスタイルに合わせて一緒に家をつくりあげるのが「つるおか工務店」のスタイル。



サンルームを中心にぬくりに包まれる家

エルドラドストーンの外観が重厚感と温かみを感じさせるこの家の中心は、2階のリビングに隣接したイギリス製サンルーム。ゆるやかに傾斜した地形を利用して半地下のビルトインガレージも設けられている。サッシはマーヴィン、EPS工法でサンドイッチパネルと、ハイレベルな住宅性能を実現。家族と愛猫に上質な暮らしをもたらす輸入住宅だ。



南欧スタイル輸入住宅の先駆け

1990年代末、まだ輸入住宅といえば北米風が主流だった時代に、オーナーたつての希望で建てた南欧風住宅。テラコッタタイルや屋根瓦などの部材をスペインから直輸入し、太陽に映える漆喰仕上げの白い外壁が印象的だ。竣工から10年後にはリフォームを施し、長く快適に住み継いでいける、スペイン風輸入住宅の模範ともいえる上質な住まいだ。

◀ INFORMATION ▶

有限会社つるおか工務店

TEL 0470-68-4848

営業時間/8:00~18:00  
千葉県夷隅郡御宿町久保2039  
施工エリア/千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県(その他の施工エリア応相談)  
保証・メンテナンス/まもりすまい保険・住宅瑕疵担保責任保険加入、10年保証、メンテナンス迅速に対応

カタログ請求は  
P107を  
ご覧ください。